



挨拶

発達障害の特性に関する情報が広がるに従い、また就学前の検診や、成人への心理テストの普及によって、障害の可能性が認知される度合いが高まるに従い、「発達障害児・者の存在」は、着実に知られるようになってきたものの、発達障害児・者への的確な理解や対応は、まだ始まったばかりであり、当事者や家族の悩みは深く、生きづらさは容易に緩和されていません。

小中学校でも、障害者福祉の事業所でも、一般企業でも、さらには身近な家族や友人でも、発達障害への適切な理解・情報の不足や、対応する側の偏見や思い込みによって、当事者は心身の不調に悩み、うつ状態や不安症的な症状を併発する人が出てきます。

そんな中で、精神科医の岡田尊司先生は、著書「敏感で傷つきやすい人たち」の中で、発達障害と混同されやすい HSP(敏感や繊細の意)の方たちが心理面でのストレスを感じているだけではなく、身体的な病気にもなりやすいことを記されています。そして、本人自身だけでなく、周囲の人も配慮すべきことを挙げられています。このことは、そっくり発達障害児・者の方たちにも言えることです。発達障害児・者の方たちの抱える「生きづらさ・理解されづらさ・理解しづらさ」は、身体的な不調そして病に結びつきやすいものです。本人のわがままや怠けではなく、心も体も悲鳴を上げていると理解するのが適切です。

発達障害児・者の方たちが、理解しづらい・理解されにくい事からくる、多くのストレスや不満・不安は、やがてうつや不安症や依存症などに引き込まれて行かないように、支援していくのが、支援者や家族や相談機関の役割となっています。発達障害とひとくくりせず、個人の障害特性に注目して下さい。

☆例会の約束と開催日

発達障害者家族会と当事者会は、毎月開かれています。その場合の約束事をまず紹介します。

- 1 安心して話せるように、例会での話は他の人に話さないこと。
- 2 本音と言えるために、他の人は話される内容の批判や訂正をしないこと。
- 3 みんなで話せるように、一人の人が話を独占しない。
- 4 話したくないことや話したくないときは、他の人の話を聞くだけでも良い。

☆3月に開く2つの啓発講演会

①生きづらさを抱える人を支える講演会

内容：80・50 問題や、頼れる人がいない、将来が不安、生活困難、引きこもりがちな人への支援についての講演

期日：3月13日 月曜の午後1時半

会場：柏市のアミュゼ柏2階ホール

講師：あいねっと 松島氏、ほっとネット 今成氏のお二人

親亡き後の問題と、つながります。

②発達障害とは？

内容：当事者と当事者を取り巻く方が、ちょっと楽になる考え方・

期日：3月18日 土曜の午後1時から

会場：流山市初石公民館2階ホール

講師：千葉県発達障害者支援センター 田熊氏

発達障害者を理解する基本・特性を分かりやすく学びます。ご期待ください。



☆定例会案内

3月11日 10時 初石公民館会議室

4月 8日 10時 初石公民館2階和室

「ひまわりの会」問い合わせ

世話人：大山 三尾谷 豊田

問い合わせ：勝本 090-3696-1589

勝本メール：cqj04465@ybb.ne.jp